令和７年度
福岡市高齢者実態調査
報告書

令和８年７月

福岡市　福祉局

目　次

Ⅰ．調査概要

１．調査目的 1
２．調査概要 1
３．回収結果 2
４．集計の見方 2

Ⅱ．調査結果

第１章　高齢者一般調査共通設問

１．回答者の属性 3
（１）調査の回答者 3
（２）性別 5
（３）年齢 5
（４）居住地区 6
（５）家族の状況 7
（６）世帯年間総収入額 10
（７）要介護度 12
２．情報通信機器利用状況 14
（１）情報通信機器利用状況 14

第２章　高齢者一般調査Ａ

１．日常生活について 19
（１）外出 19
（２）自動車運転免許 23
（３）外出の際に困っていること 24
（４）心配事や悩み事の相談相手 25
（５）近所付き合い 27
（６）同居していない家族や友人との付き合い 28
（７）孤独感 29
（８）孤立死 30
（９）孤立死防止策 32
（10）地域福祉活動の参加状況 34
（11）災害時における一人での避難 35
（12）災害時や緊急時に手助けを頼める人の有無 37
（13）災害時の心配事や問題点 38
（14）「個別避難計画」の認知 40

（15）保健・医療・福祉の情報源 41
（16）健康状態 43
（17）経済的な不安 44
２．生きがい・社会参加 45
（１）生きがい 45
（２）ボランティア活動 48
（３）老人クラブ活動 51
（４）グループ活動への参加 54
（５）仕事 62
（６）「シルバー人材センター」の認知 70
（７）社会参加 71
（８）高齢者乗車券 75
（９）「福岡 100 プラザ」 78
（10）老人いこいの家 81

第３章　高齢者一般調査Ｂ

１．現在の住まいについて 83
（１）居住の状況 83
（２）住まいの困りごと 85
（３）住み替えで困ったこと 87
２．健康・福祉などについて 89
（１）健康状態と運動習慣 89
（２）運動以外の健康づくり習慣 96
（３）フレイルの認知度 100
（４）歯科の定期健診の有無 101
（５）歯の本数 102
（６）咀嚼の状況 103
（７）入れ歯・ブリッジの使用状況 104
（８）口腔の健康状態 105
（９）歯みがきの頻度 106
（10）歯間部清掃用器具の使用状況 107
（11）認知症を正しく理解する行動 108
（12）認知症に関して知りたい内容 109
（13）認知症の人や家族の立場への理解 110
（14）認知症対策として充実してほしいこと 111
（15）福岡市が認知症の人にとって安心して暮らし続けることができるまちであるかの認識 113
（16）健康づくりで福岡市に力を入れてほしいこと 114

３．いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）について 115
（１）いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度 115
４．権利擁護について 117
（１）高齢者虐待の通報義務の認知度 117
（２）成年後見制度の認知度 117
５．医療について 118
（１）かかりつけ医の有無 118
（２）在宅医療への関心 119
（３）在宅医療の希望 120
（４）最期を迎えたい場所 122
６．これからについて 123
（１）住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うか 123
（２）今後の介護意向 124
（３）医療や介護が必要になったとき不安なこと 126
（４）終活について 127
（５）「ACP」又は「人生会議」の認知 128
（６）行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策 129
（７）介護サービスの利用 131

第４章　介護サービス調査共通設問

１．回答者の属性 133
（１）調査の回答者 133
（２）性別 134
（３）年齢 134
（４）居住地区 136
（５）家族の状況 136
（６）世帯年間総収入額 138
（７）要介護度 139
（８）現在の傷病 140
（９）介護が必要になった原因 142
（10）家族・親族からの介護の状況 143
２．日常生活について 144
（１）住居形態 144
（２）現在の住まいで困っていること 145
（３）施設入所・入居の検討状況 146
（４）現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス 147
（５）今後の住宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 149
３．現在利用している医療について 151
（１）かかりつけ医の有無 151

（２）在宅医療への関心 151
（３）訪問診療の利用の有無 153
（４）在宅医療の希望 155
４．今後の介護・医療について 156
（１）今後、どのような介護を受けたいか 156
（２）最期を迎えたい場所 157
（３）「ACP」又は「人生会議」の認知 158
（４）単身者となった場合に希望する「見守り」 159
（５）地域の訪問による「見守り」の希望回数 161
５．介護保険制度全般について 162
（１）介護保険制度全体の満足度 162
（２）介護保険制度で不満に思うこと 163
（３）介護保険制度でわかりにくいこと 165
（４）介護や福祉サービスについての相談先 166
６．現在の高齢者サービスについて 167
（１）高齢者サービス 167
７．家族の回答 169
（１）主な介護者 169
（２）主な介護者の性別 169
（３）主な介護者の同居状況 170
（４）主な介護者の年齢 170
（５）介護離職の状況 171
（６）主な介護者の勤務状況 172
（７）介護についての相談先 184
（８）主な介護者が行っている介護の内容 185
（９）現在の生活を継続するために主な介護者が不安に感じる介護の内容 189
（10）今後の介護の仕方 192
（11）在宅で介護を続けるために必要性が高いサービスの内容 193
（12）在宅で介護を続けるために必要な支援の内容 194
（13）高齢者虐待の通報義務の認知度 195
（14）「成年後見制度」の認知度 195

第５章　介護保険在宅サービス利用者調査

１．現在利用している介護保険サービスについて 196
（１）令和７年８月の介護保険サービス利用 196
（２）１か月あたりの利用料金 199
（３）利用額上限までの利用 200
２．今後の介護・医療について 202
（１）在宅生活で必要性が高いサービス 202

３．介護保険制度全般について 204
（１）介護サービス事業者を選ぶ際に重視すること 204
（２）小規模多機能型居宅介護の認知度 205
（３）定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの認知度 205
４．家族の回答 206
（１）介護保険サービスを利用する上で困っていること 206

第６章　介護保険在宅サービス未利用者調査
１．日常生活について 207
（１）日常生活の支援者 207
（２）日常の買い物の頻度 209
（３）日常の買い物で困っていることの有無 209
２．介護保険サービスについて 210
（１）介護保険の在宅サービスの利用状況 210
（２）在宅で生活する上で困っていること 212
（３）今後の介護サービスの利用意向 213

第７章　介護保険施設等サービス利用者調査
１．回答者の属性 214
（１）施設の種類 214
（２）施設入所前の居住状況 215
（３）施設への入所を希望した理由 217
２．利用している介護保険施設・グループホームについて 218
（１）利用者負担段階 218
（２）利用者負担額 219
（３）利用料金の負担者 220
（４）現在の負担額をどう思うか 221
（５）利用料金とサービスとの関係性 223
（６）施設などを選ぶときに重視する点 224
（７）現在の施設への満足度 226

第８章　介護支援専門員調査
１．回答者の属性 228
（１）性別 228
（２）年齢 228
（３）介護支援専門員としての経験年数 229
（４）介護支援専門員としての経験事業所数 229
（５）介護支援専門員以外に取得している資格 230

（６）勤務状況 231
（７）事業所の法人種別 232
（８）事業所の介護支援専門員数 233
２．ケアマネジメントについて 234
（１）給付管理件数 234
（２）保険外サービスを組み合わせたケアプラン 235
（３）介護サービス受給者に必要な「見守り」サービス 240
（４）充実が必要な「見守り」サービス 241
（５）不足している認知症患者の支援体制 242
（６）在宅での生活が困難なケース 243
（７）小規模多機能型居宅介護をケアプランに導入もしくは検討した経験 245
（８）定期巡回･随時対応型訪問介護看護をケアプランに導入もしくは検討した経験 247
（９）ケアプラン作成で利用しにくいサービス 249
（10）ケアプラン作成で過剰なサービス 250
（11）ケアプラン作成で不足しているサービス 251
（12）情報収集や連絡・調整の方法 252
（13）医療機関からの情報収集の方法 253
（14）自立につながる支援ができたケアプラン 254
（15）計画作成での相談相手 256
（16）計画作成での相談内容 257
（17）計画作成の際に重視していること 258
（18）事業所紹介の際に重視していること 259
３．介護予防・生活支援サービス事業について 260
（１）訪問サービスについて 260
（２）通所サービスについて 262
（３）サービス選択のフローチャートについて 264
（４）生活支援型サービスの普及に有効な方法 266
４．他機関との連携について 267
（１）主治医との連携 267
（２）地域ケア会議 270
（３）複雑化した課題の相談先 271
５．処遇困難事例などへの対応について 272
（１）区役所や地域包括支援センターへの相談の有無 272
（２）成年後見制度が必要と思われる場合の相談先 273
（３）成年後見制度の利用が必要と考えられる方の時期別人数 274
６．行政の役割について 276
（１）行政の役割 276

Ⅲ．調査票

１．高齢者一般調査Ａ 278
２．高齢者一般調査Ｂ 288
３．介護保険在宅サービス利用者調査 297
４．介護保険在宅サービス未利用者調査 309
５．介護保険施設等サービス利用者調査 319
６．介護支援専門員調査 323

Ⅰ. 調 査 概 要

１．調査目的

本市に在住する高齢者などの保健福祉に関するニーズ・意識などを把握することにより、「第１０期介護保険事業計画」の策定に必要な基礎的データを収集・分析するとともに、本市の高齢者福祉施策の向上に資することを目的とする。

２．調査概要

調査種別	対象者・調査人数	発送日	回収期限
高齢者一般調査Ａ	・市内在住の 65 歳以上（令和 7 年 10 月時点）の者 ・3,000 人（住民基本台帳から無作為抽出）	令和 8 年 1 月 15 日	令和 8 年 2 月 13 日郵送着まで
高齢者一般調査Ｂ	・市内在住の 65 歳以上（令和 7 年 10 月時点）の者 ・3,000 人（住民基本台帳から無作為抽出）		
介護保険在宅サービス利用者調査	・介護保険在宅サービス利用者（令和 7 年 8 月時点） ・3,000 人（無作為抽出）		
介護保険在宅サービス未利用者調査	・在宅の要介護認定者のうち、サービス未利用者（令和 7 年 8 月時点） ・2,000 人（無作為抽出）		
介護保険施設等サービス利用者調査	・市内の介護保険施設、グループホーム入所者（令和 7 年 8 月時点） ・1,500 人（無作為抽出）		
介護支援専門員調査	・市内の居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおか所属の介護支援専門員（令和 7 年 10 月時点） ・1,504 人		

３．回収結果

調査種別	配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
高齢者一般調査Ａ	3,000	1,975	65.8%	1,970	65.7%
高齢者一般調査Ｂ	3,000	1,915	63.8%	1,912	63.7%
介護保険在宅サービス利用者調査	3,000	1,493	49.8%	1,490	49.7%
介護保険在宅サービス未利用者調査	2,000	1,006	50.3%	996	49.8%
介護保険施設等サービス利用者調査	1,500	1,065	71.0%	910	60.7%
介護支援専門員調査	1,504	1,103	73.3%	1,103	73.3%

※回収された調査票から白紙のものを除いた有効票のみを集計に使用している。

４．集計の見方

(1)集計結果は、標本数（図では N と表示）を基数として百分比（%）を算出し、小数点第１位（第２位を四捨五入）までを図表に表している。

(2)小数点第 2 位を四捨五入しているため、構成比の計が 100%とならない場合がある。また複数回答の質問においては、百分比の合計が 100%を超える場合がある。

(3)図表中の「N」（Number of cases の略）とは設問に対する回答件数の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数である。

(4)図表の表頭、表側部分の文章は、適宜簡略化している場合があるので、必要に応じて巻末の調査票を参照のこと。

(5)グラフ内の数値の単位はすべて%である。

(6)2 つ以上の選択肢を合計して表している比率は、各選択肢の割合を合計して算出している。

(7)文中の選択肢の表記は「」で行い、2 つ以上のものを合計して表す選択肢は『』で表記している。